



株式会社 TKC 様

コーポレートサイト・TKC 全国会サイトの統合管理に「MTCMS Enterprise 5」を採用。ウェブサイトの運用工数を大幅に削減し、情報発信スピードの向上を実現。

全国の TKC 会員の会計事務所と地方公共団体にコンピュータ・サービスをはじめとする各種情報サービスの提供を行う株式会社 TKC。同社は、コーポレートサイトの刷新に際し、それまで別ドメインで管理されていた「TKC 全国会」のサイトとの統合を推進した。1000 ページ以上にのぼる膨大なサイトのリニューアルには『MTCMS Enterprise 5』が採用され、構築をスカイアークが担当。サイトは 2010 年 7 月にリニューアルオープンした。

シームレスに情報提供できるサイトに

サイトリニューアルの経緯について教えてください。

鈴木 株式会社 TKC のコーポレートサイトと TKC 全国会のサイトを統合して、あらたに同一ドメイン下のサイトとしてリニューアルしました。TKC 全国会は、私たちが提供するシステムを利用いただいている会員様の組織で、1 万人超の税理士や公認会計士が入会されています。

TKC 全国会というのは、株式会社 TKC から見るとお客様にあたるわけですね。

高見 そうです。TKC 全国会で発信する情報は、会員である税理士や公認会計士の先生の活動内容などがメインですが、会計事務所で使われている「FX」という戦略財務情報システムは弊社の商品ですので、システムの詳細情報を閲覧するためには弊社のサイトに移動してもらわなければならなかったのです。

鈴木 サイトを閲覧される方には両サイトの間を行ったり来たりしてもらった必要があったので、情報がワンストップで提供されていないという課題がありました。リニューアルに際して両サイトをシームレスな構造のサイトにしたかったのです。

単なるリニューアルとは違って作業も膨大だったのですね。

鈴木 デザインの変更のみならず、今まで異なるサイトで発信していた情報内容を同一サイトから発信することになったので、情報を編集し直す作業などが伴いました。限られた人員で既存サイトを更新しながら、並行してリニューアルの作業をしなければならず、何かいい解決法はないかと思っていました。

そこで CMS を導入しようご検討されたのですか。

鈴木 いろいろと CMS の仕組みを検討して、選択肢としては MT と WordPress、Drupal、そして自社で CMS の仕組みを開発するという選択肢がありました。ただ、リソースの都合上、自社開発は難しそうだという結論となりました。

高見 そうしたことに加えて、当社のサーバー構成上の事情で Windows サーバーを使う必要がありました。そして、調べてみるとどうも WordPress は Windows サーバーでの実績がなさそうということになりまして、それで MT で開発しようと考えた次第です。

リニューアルをご検討されたのはいつ頃からですか。

鈴木 社内的に最初に話が出たのは 2008 年頃でした。社内での検討を経て、スカイアークさんと初めてお会いしたのが 2009 年の 9 月頃。本格的に作業に着手したのは 2010 年に入ってからです。

MT への専門性と「ノンカスタマイズ」が決め手

スカイアークの「MTCMS」を採用された経緯について詳しくお聞かせ下さい。

鈴木 当社側の要望として大きかったのが、「ノンカスタマイズ」という部分です。リニューアル前のサイトは、機能拡張のたびにプログラムの個別開発が伴い、相当な作業負担となっていました。ですから、色々な機能を実現するためのプラグインが標準で充実されている CMS が希望でした。

開発に負荷がかからない CMS というのが決め手だったのですね。

鈴木 MT 採用を決めて、当社としての要件をシックス・アパートさんに伝えたところ、「MTCMS」というパッケージがあると紹介していただいた次第です。「MTCMS」のバージョン 5 のリリースが 2009 年 11 月で、ちょうど弊社のリニューアルのタイミングと重なったようです。何とかカスタマイズなしで導入できそうだという説明を小林社長からいただき、本当にその通りになりました(笑)。

スカイアークをお選びになった決め手はどのあたりにありますか。

鈴木 MT 専門のベンダーという点が一番大きいです。開発会社を決める際には「あれもこれもできる」という多様性よりも専門性を重視しました。その方が、弊社のやりたいことを実現する選択肢を数多く提示していただけたと思ったからです。

高見 MT 採用を決めてからは、スカイアークを選ぶまで他のベンダーとの競合はなかったです。

デザイン



目的

- コーポレートサイトと TKC 全国会ウェブサイトの統合・リニューアル
- サイト運用工数の削減

効果

- サイト運用工数の大幅削減
- 各部署でのウェブサイト更新が可能に
- 直帰率の大幅改善
- 社員のコミュニケーション活性化

ソリューション

- CMS を活用したウェブサイト構築

導入アプリケーション

- MTCMS Enterprise 5
- Windows Server 2008
- Microsoft SQL Server 2008

プロフィール

株式会社 TKC

資本金	57 億円
売上高	500 億円 (2010 年 9 月期実績)
従業員数	2,226 名(2010 年 10 月 1 日現在)
本社	栃木県宇都宮市鶴田町 1758 番地

というのやり取りをさせていただく中で、こちらからの要望に対するレスポンスの早さなど「お任せして大丈夫だ」という信頼感があったからです。実際パッケージからデザイン、開発と的確に作業していただきました。

約 800 ページのサイトを 2 ヶ月で移行完了

リニューアル作業において注力した部分はどのあたりですか。

鈴木 まずはビジュアル部分です。コーポレートサイトは IR 中心で、全国会のサイトも会員である士業のイメージを崩さないよう堅いイメージでした。見栄え、色合いとも明るく親しみの持てるイメージにしたかったのです。情報の内容という点では、今まで立場の違うサイト上にある情報を一つに統合したので、文章の表現などを見直しました。

高見 今回のリニューアルで、トップページのメインビジュアルにスライドパネルを設けましたが、「企業経営者向け」や「税理士、公認会計士向け」というように、ターゲットユーザーをセグメント分けして、それぞれにナビゲーションメニューを設けました。なかなかデザインが FIX できませんでしたが、スカイアークの尽力もあって最終的には良いものができたと思います。

リニューアル作業のスケジュールはどのようなものだったのですか。

高見 2010 年 7 月のオープンというのは若干前倒しになったもので、実質、2 ヶ月くらいの作業期間でした。移行対象のページは両サイトで 1000 ページ近くありましたので、ディレクトリマップ一つとってかなり複雑でした。残業しても半年近くかかりそうなボリュームの移行作業をオンスケジュールで進めることができたのは、既存サイトの HTML から任意の部分で CMS に移植できる「Website Importer」という機能のおかげです。全てのページを移行したわけではありませんが、それでも 800 ページ近くを情報のリライト込みで 2 ヶ月で移行できたというのは「MTCMS」のおかげだと思います。

リニューアルの効果について教えてください。

高見 まず全体的にはデザインが洗練されたという評価をいただきました。アクセス数は順調に伸びています。2 サイトを一つに統合したので、単純に PV 数を比較すると少なくなっていますが、直帰率は大幅に改善されました。

高見 サイトの運用工数が大幅に削減され、情報の更新スピードが上がりました。先月から新しくメンバーが加わりましたが、通常、更新スタッフには半年から 1 年くらい HTML や JavaScript などを研修しないとイケなかったのが、「MTCMS」によって着任後、1 週間くらいで記事更新作業に携われるようになりました。今まで、Dreamweaver などのオーサリングソフトを使って行っていたサイトの更新も、MTCMS では WYSIWYG エディタのおかげで、ワープロソフトが扱える程度のスキルで更新が可能です。ニュースリリースなど速報性のある情報は、広報部門から直接 MTCMS にページをアップロードできるようになりました。

高見 Web 上で各種セミナーの申し込みができるのですが、申し込みの入力フォームの開発は、今までは開発部署に依頼して、要件定義から仕様書作り、コーディングにテストを経て 1 週間くらいかけて設置していました。今では MTCMS のプラグインのおかげでドラッグ&ドロップで作成可能になり、テスト環境上で OK であれば即公開というスピード感で対応できるようになりました。

管理画面の使い勝手についてはいかがですか。

高見 直感的でわかりやすいと思います。運用に携わるメンバーの負担も低減され、減った分の工数をサイト集客の企画などの業務に振り向けることで、さらに生産性が上がると思います。

お互いに成長していける関係を期待

スカイアークの仕事ぶりなどへのご感想はいかがでしたか。

鈴木 スピーディに対応していただき、今回の案件についてはベストパートナーだと思います。専従スタッフに常駐で作業していただく体制で、組織的に対応していただきました。

高見 正直、ドキュメントのレベルには驚きました。プロジェクトの週次報告書など、ドキュメントがしっかりしているという印象です。スカイアークとはともにサイトを育てて、いいものにしてほしいという気持ちがあります。いい機能を実装して、いいサイトに育てていけば、スカイアークのお客様へのアピールにもなると思います。

今後の機能拡張や展望について教えてください。

鈴木 会員である税理士や会計士の方の活動に役立つようなサイトにしたいと考えています。サイトは継続して運用していくと DB として活用できる側面があると思います。TKC 全国会の活動を、行政、税理士、経営者そして金融機関に対して正しく訴求できるようなコンテンツを展開していきたいです。

高見 スマートフォンや iPad などのスレート型 PC といった多デバイス展開は一つの課題です。全国会のサイトにある『巻頭言』というコンテンツのアーカイブを EPUB に変換して電子書籍化にするというのも一例ですが、当社のやりたいことを実現する方法の提示や、最新の情報の提供など、スカイアークとは双方向の関係というか、お互いに成長していけるような関係をこれからも期待したいです。



システム開発研究所 ProFIT 推進部
次長 鈴木 隆夫



システム開発研究所 ProFIT 推進部
次長 高見 健